

地域の子は地域ですこやかに育てよう



新し手つるが

青少年健全育成敦賀市民会議 第38号

<http://seisyounentsuruga.net>

地域の中でふれあう
平成29年度
ひまわり塾

つるがをもっと知り
たのしいつるがを体験しよう!

郷土の今と昔を知り
自然にふれあいながら
豊かな心情を培う



昆布すき体験

7.29



建材工場見学

8.24



そば打ち体験

9.23



工事現場見学

10.22





平成29年度
ひまわり塾
7月29日(土)



① 昆布すき体験

●私は、昆布を一度だけすいたことがありました。でも、その時より、昆布のことがたくさん分りました。たとえば、昆布の黒い部分をむきむきにして白くすると、すくすくうすくうなり、おいしかったです。そのほか、昆布の黒い部分は、10gで100円、白い部分は10gで100円というふうで、白い昆布の方が高いということも分かりました。自分で昆布をすいてみて、すくすく楽しかったし、自分ですいた昆布を食べることもできてよかったです。

●今日は、こんぶすき体験で、こんぶが教習でも使用されていることをはじめて知りました。日本、手すきが上手な人に教えてもらい、とても上手にできたと思います。自分で手すきをしたこんぶは、今までの中で一番おいしいと思います。ひつうのこんぶでも「おいしい」「とは思うけれど、自分の方が、やっぱりおいしいです。また教習のこんぶは、北海道からとれることにわたしはとてもおどろきました。

●教習のこんぶは、日本一だということをはじめて知りました。今日はじめてこんぶをすいて、こんぶはがたいんだと分かりました。こんぶは黒い部分が100円、白い部分は100円だなんてびっくりしました。黒いところは、表面で中をほとんどむきむきして、いくと白くなっています。自分一人でこんぶをすいたら、こんぶが動いてあまりげずれなかつたけれど、しゅくしゅくさんは、長く早くできていておどろきました。こんぶをすくるとき、しゅくしゅくの人はちゃんと足に力を入れてすっていました。でも自分は、足に力を入れないでけすいていたからあまりきれいにけすれませんでした。また、できるときがあつたら足に力を入れて、けすれ

●今年で二回目だわかつたことが三つあります。一つ目は、こんぶは北のほうにあることです。北海道や青森岩手など北にいったいはいはえていることがわかりました。二つ目は世界にもこんぶがあることです。中国やロシア、かん国にもこんぶがあることです。また、カナタは大きいこんぶがあり食べられず「ラッ」のこんぶだということが分かりました。三つ目は、こんぶの種類です。ラウスなど全部北海道でとれることが分かりました。こんぶをほう丁で切るには力が強くないと、けすれないことがあるのでまたやるときは力を強くしてけすりたいです。

●わたしは、こんぶがとれるところは、少ないんだとはじめて知りました。こんぶかきは、こんぶがかわくて、むすかしかつたけど、うまくて、よかつたと思います。なれてくると、かんたんにはできるよつになつたけど、最初の方は、むすかしかつたです。こんぶは、白い部分と黒い部分にわかれていました。黒い部分の方が、こんぶをかくとき、かたかつたけど、白い部分の方が、かわかくて、こんぶをかくときは、かきやすかつたです。

●今日は、二回目の昆布すきで、一回目のおすいものと同じものができて、とてもおいしかったです。おほの昆布は、85%〜90%が教習できています。



●わたしは、こんぶがとれるところは、少ないんだとはじめて知りました。こんぶかきは、こんぶがかわくて、むすかしかつたけど、うまくて、よかつたと思います。なれてくると、かんたんにはできるよつになつたけど、最初の方は、むすかしかつたです。こんぶは、白い部分と黒い部分にわかれていました。黒い部分の方が、こんぶをかくとき、かたかつたけど、白い部分の方が、かわかくて、こんぶをかくときは、かきやすかつたです。





平成29年度
ひまわり塾
8月24日(木)



② 建材工場見学

●えいだいさん業の建物は、東きょうドームの二倍くらいの大さなんで、びっくりにしました。工場見学では、お客さんにたのまれた大きさをひとつひとつ切っていくのがすごいと思います。いたのせんめんにつるつるのうすいたをつけたのをさわったら、とてもきれいだったので、わたしも大きくなったらあいたいをつかって、大きな家を建てたいです。うすいたのうすいたは、200しゅるいい上もあるなんてびっくりにしました。こまかいいたは、せんぶ人がいるをぬっていいです。

●私は、工場見学をして板や木製品がどのようにしてできているのかをたくさん学びました。はたらいている人は260人で工場の広さは約12.4万平方メートル。工場の開始が一九六四年四月、工場の広さをたとえると東京ドーム2.75倍、阪神甲子園球場の3.3倍、ということが分かりました。フロレンスというゆかにつかう板があつて私は、色をぬつておもうと思つたけど、じつさいは、木をうすくきつてあるものではつてありません。あまりいけない工場に見学させてもらつていろいろ分かりました。

●今日、永大産業株式会社を見学して、永大産業は、フローリングや階段の板をつくつていることが分かりました。事業所面積は12.4万平方メートルで、操業開始は一九六四年四月です。働いている人の人数は約260名で

たくさんの方が働いていると分かりました。工場の中は人が少なくて機械や木の方が多かったです。フローリングは木の板にシートをはつてつくります。この永大産業の加工した板は全国にトラックで輸送します。私達が住んでいる敦賀は大きな会社はたくさんあるけれど木を加工しているのはこの永大産業だけなので、すごいと思いました。

●今日は、永大産業の工場見学がありました。初めにスクリーンを見ました。日本の国土(面積)で、森林は、七割(66%)なんだと初めて知りました。福井県の面積は、1.1%だと知りました。敦賀市でつくつていっているフローリングは、シートだということを知りました。製さい品は木の柱で、合板はフローリング用の合板だと分かりました。階段は全て同じだと思つていたらけれど、三種類もあることを知りました。事業所面積は、約12.4万平方メートルで、阪神甲子園球場の3.3倍だときいてびっくりしました。

●わたしが今日のはじめて知つたことは、木さいをつくるのにたくさんのおかきかきがあつたことです。わたしはきかきの数は一つの工場に10こくらいかな、と思つていました。でも予想よりもとても多かつたからおどろきました。あとは、とてもいいねいにつくつていっていることにおどろきました。



●今日は、はじめて建材工場見学をして、いろんな木やかきかき、名前などが知れてよかつたです。とても面積が広くて、いろいろな床や、かいだんなどの色や、形が家によつてちがいで、プレスするきかきなどが見学できてよかつたです。女性もはたらいていてびっくりしました。パーティクルボードは、はいいさいをあつしゅくしてつくつたものだとはじめてしりました。うすいたを何枚もかさねてできている板など、いろいろな板があつておもしろかつたです。





平成29年度
ひまわり塾
9月23日(土祝)



③ そば打ち体験

●今日はそばを切るとき太さやばばなどを考えていねいに切るのをがんばりました。粉を混ぜるときつままないように気をつけながらしました。たまにボールから粉が出てしまったのが残念でした。ほくは二度目とは言えどもあまり上手にはできませんでした。食べたらとてもおいしかったです。三四はい食べました。包丁はともきけんだと聞いていたので気をつけながら切りました。

そば作りは思っていたよりも大変で「上手にできるかな？」と心配していたけど本当においしかったです。また作りたいです。

●今日、そば打ち体験をして、おすかしかったことは、そばを切るところと、こねるところです。そばを切るころころがむずかしかったかということ、そばを切るとき、細くなってしまうたり、ふとくったりしたからです。お手本でよくにんの人かともせんぶびょうどうですごいと思いました。めんぼうをするときうすくなくてしまったり、ふとくったりしてしまったりしてむずかしかったです。

●今日はひまわり塾でそばを作りました。そば打ちはとても難しいと思っていたけど意外と簡単でした。そばを作るとき、めんを細く切ったり太く切ったりと、はばがばらはらになりました。こねる時はとても

かたくて力を入れると、やわらかく感じました。そばのはす時は、きじをとてむすくのばすことができた。粉がボールに出てしまったのが残念でした。自分で作ったのを食べることもおいしかったです。お家でもつくれると思うので自分をつくりたいです。

●今日はそば打ち体験をしてとてもおすかしいと思ったのはそばを切るときに細かったり太くなったりしてとてもむずかしかったです。やっぱり自分で作ったそばは、おいしいと思います。あまりにもすくおいしかったので五はい以上もたべてもおいしかったです。作る手順などをおしえていただいたおかげですごくおいしいそばが食べることができたのでこうしの方にかんしゃしたいと思います。

●今日、そばうちたいけんをしていちばんむずかしかったときは、きるときです。ちゃんと細くするのがとてもきんちよつしました。水をちようせいするときはとてもしんちよつにたくん入らないようにがんばりました。きるのは左手に力を入れないようにゆつへつしました。ほうちよつをかたづけるときは手をきららないようにかたづけました。そばをつくる人はとてもしんけん工夫してつくっているんだなと思いました。今日は、みんなで協力して最高のそばができたと思います。



●今日のそば打ちを合わせて七、八回目だけど他の小学校の人たちとやるのは初めてだったのでとてもいい体験学習だったと思います。本当のそば職人のお手本をみながらやるのは初めてでもまねできない位のすごさだったと思います。ほくは、そばがとても好きで今日自分で作って食べられたので良かったです。今までそばを作る時は一人でやっていたけど今日初めて協力しながら作れたのでとても良かったです。作る時に思ったより粉を使っていたのでビックリしました。立ちながらそば打ちをしたのでいつもより力が入りました。今日はめいがかういでした。





平成29年度
ひまわり塾
10月22日(日)



④ 新北陸トンネル工事現場見学

●ほくはふだん入れないトンネルの中を見せてもらって、トンネルはほくやくを使うことやコンクリートをひきつけるきかいがあることやジャンボという若はんにあなをあけるきかいがあることや空気を送るくだがあることなどを知りました。あとトンネルの作り方も知りました。

●私は、今日、新北陸トンネルの工事現場を見学することができてよかったです。なぜなら、たくさん発見をしたからです。まず、トンネルにはたくさん地下水がありました。地下水を機械ですいあげているようなものもありました。次に、足もとに石がたくさん落ちているところと、コンクリートでほきようきわれているところがあるのを見つけました。石が落ちているところは、たくさん落ちていて、ぬかるんでいるところもたくさんあったけれど、コンクリートでほきようきわれているところは、石も落ちていないし、とても歩きやすくていいなと思いました。トンネルの中の見学をすごくよかったです。

●今日、北陸新幹線、新北陸トンネル(葉原)の見学をして分かったことは三つあります。一つ目はほくが発させてトンネルをほくということです。二つ目はジャンボという機械を

使って孔をあけてほく薬を詰めることとです。三つ目はかべに鉄のわく・ほくを入れていることです。トンネルの中はとても暑くておどろきました。学校でも行けないきまよくな体験ができてよかったです。こつこつした若もあつたし暑かつたしあぶない中でもそついう仕事ができるのはすごいと思いました。トラクタースショベルやジャンボ、クラッシャー、ノズル吹付け機など色々な機械があるということが分かりました。改めてすごいなと思いました。

●今日トンネル見学をして初めて知ったことは、ほくはさせてほりすこととです。最初、スコップでほっていると思ったけれど、たしかにはほくはさせるのはほくきるなな思いました。ほくはジャンボというきかいでやることとです。びっくりしたことは、トンネルの中に地下水が流れていたことです。水がもれないように防水シートをはっていました。ほつた岩は敦賀港にはこんでいるそうです。めつたにみられないトンネルの中をみれて、うれしかったです。

●電気の色で何をあか決めていてよく考えているんだなあと思いました。ジャンボやクラッシャーやベルトコンベアーなどの機械でほつたり、運んだりしていることが分かりました。花ごう岩がとってもかたいことが分かりました。爆破したり防水シートをほつたりして、トンネル



を作っているんだなあと思いました。トンネルをほく強したり、仕あげにかたわくはコンクリートをながしこんだり、少しもてきとうにやらななんだなあと思いました。

●わたしは、今までこんな所に行つたことはありませんでした。めつたに行けないトンネル工事はほくはすごいと思いました。とてもおどろいた事は、ほく薬をせつちしてほくはさせてごんごんほつていくことを、初めて知りました。しん幹線が通る場所なので、そこを通る時は、工事している時、わたしは、そこに行つたんだと自まんしたいです。こんなに楽しいとは思っていませんでした。このことを一生、わすれません。



① 昆布すき体験 7月29日(土)

[西公民館]

- 4年生 9名
- 5年生 12名
- 6年生 11名
- *塾生 32名
- *会長・副会長及び推進員 11名



② 工場見学 8月24日(木)

[永大産業株式会社敦賀事業所]

- 4年生 10名
- 5年生 14名
- 6年生 12名
- *塾生 36名
- *会長・副会長及び推進員 12名



③ そば打ち体験 9月23日(土祝)

[西公民館]

- 4年生 15名
- 5年生 10名
- 6年生 12名
- *塾生 37名
- *会長・副会長及び推進員 12名



④ 工事現場見学 10月22日(日)

[新北陸トンネル葉原工区]

- 4年生 14名
- 5年生 17名
- 6年生 13名
- *塾生 44名
- *会長・副会長及び推進員 10名



平成29年度
ひまわり塾をおえて…



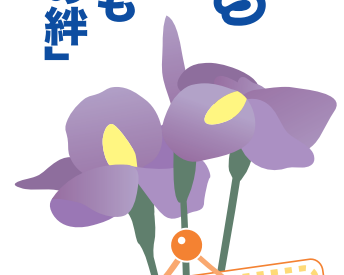
『ひまわり塾』は、「人間は人間の中で育つこと」・「誰でも先生・誰もが生徒・どこでも勉強・いつでも学習」この考え方の下、楽しい体験を通じて敦賀を感じてもらおうと思っております。今年も、人気の体験・地元建材加工工場と新しい動脈となる新幹線のトンネル工事現場見学を行いました。

永大産業株式会社では、加工工場の『広さ』と、事業所内の『ロボット設備』『スケール』に圧倒され、この企業が、『地球・社会・人との共生を通じて豊かで持続可能な社会の実現』に貢献し続けていくことに感心しました。新幹線の葉原トンネルでは、岩盤に穴をあける大きな『ジャクボ』、くだいた石を運ぶ長いベルトコンベアー、岩盤に防水シートを張りコンクリートで固めていく大きな様々な機械。それらで作り上げた長い大きなトンネルを実際目で見られたことは大きな感動でした。昔見た映画『黒部の太陽』がよみがえって来るようでした。子供たちも現場の中に入れたこと、両体験とも大きなスケールで机の上で想像できない体験ができたこと、この大きなチャンスを参加できたことを喜んでいました。体験授業では、昔からの伝統技術で、おぼろ昆布をけずっておぼろ昆布おにぎりをつくっていただきました。また自分の手で『そば』をうって、『そば』を作る大変さを感じ、自分たちの『そば』を味わいました。二回目・三回目の『そば打ち体験』の子供たちも多く、細いそばが上手に打て、懸命に手を動かす楽しい体験で、みんなの瞳が輝いて、子供たちの表情が変わってくるのが大変良かったです。

推進員 松山公之

青少年健全育成
福井県民大会inあわら

テーマ
「守ろう！地域の子ども
深めよう！家族の絆」



平成29年11月18日(土)
13時30分～
あわら市中央公民館にて

ふるさとへの誇りと愛着をもち、自ら考える青少年の育成

青少年健全育成福井県民大会inあわらが「守ろう！地域の子ども 深めよう！家族の絆」ふるさとへの誇りと愛着をもち、自ら考える青少年の育成」をテーマに、11月18日に開催され、県内約300名があわら市中央公民館に集い、青少年健全育成敦賀市民会議から16名が参加しました。

式典では、善行青少年および青少年育成功労者に知事表彰、青少年補導員および少年警察協働員に知事感謝状が贈られました。また、「少年の主張コンクール福井県大会」知事賞受賞者による発表も行なわれました。

活動発表では、北潟民謡保存会の皆さんによる「北潟古謡どっしやどっしや」の発表があり、延々と続く歌い手の音

参加者が青少年の健全育成活動について情報交換し、交流を深めるひとときとなりました。

知事表彰

青少年健全育成功労者

大門 豊子

知事感謝状

優良な青少年愛護センター補導員

松山 公之



平成29年度 青少年からのメッセージ 青少年へのメッセージ

応募資格
市内にお住まい、または、通勤、通学されている小学生以上の方

応募作品
各部門とも1人1点で未発表のもの

応募期間
平成29年12月5日(火) ~ 平成30年1月16日(火)

青少年健全育成敦賀市民会議では、青少年に関する作文と画像・ポスターを募集します。

作文

【内容】
● 家庭・学校・地域などで日頃考えていること
● 言いたいこと
● 自分の将来の夢や希望
● 私の訴えたいこと
● 子どものことについて考えていること
● 職場や団体での青少年健全育成の活動体験など

画像・ポスター

【内容】
● 明るく楽しい家庭や学校生活
● 住みよい町づくり
● 子ども会・サークル活動
● 私の訴えたいことなど

【作品規定】
★ 小学1～2年生はハツ切り画像
小学3～6年生は四ツ切りポスター
★ 中学生・高校生は四ツ切りポスター
★ 一般は四ツ切りポスター

*応募票を作品の裏面右下部に貼付してください。



応募票は各学校に配布します。一般の方は少年愛護センターまでご連絡下さい。

お問い合わせ 申込先 青少年健全育成敦賀市民会議 事務局(少年愛護センター内) ☎23-0189

「ご存じですか？」

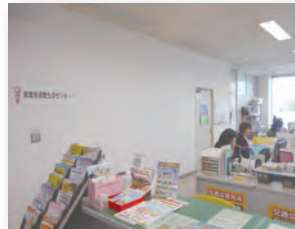
消費生活センター

● 消費生活センターとは・・・

地方公共団体が行なっている「行政サービス」です。消費者庁の発足と同時に全国各地に設置され、消費者と事業者との間に生じた商品やサービスに関する苦情や多重債務など、公正な立場で相談を受け付けています。消費生活センターでは、消費生活の安定と向上を図るため「消費生活相談、消費者啓発・商品テスト」などを行い、さまざまなトラブルに対応しております。

- 架空請求や還付金詐欺など悪質商法に関するトラブル
- ITトラブル(迷惑メール)などのお問い合わせ
- 製品に関する事故や苦情、相談
- 多重債務でお困りの方
- クーリングオフ制度について

など、「おかしいな」「困ったな」と思ったら、一人で悩まずお気軽にご相談ください。



敦賀FM放送



ハーバーステーション 77.9Mhz

毎週水曜日 13時20分からの「だまされたらあかん」のコーナーで消費者トラブルの事例や対処法などを紹介しています。

相談・問い合わせ先

● 敦賀市消費生活センター

市役所1階 生活安全課内 15番窓口
電話 22-8115
月曜日から金曜日
午前8時30分から午後5時15分
※土・日・祝日(年末年始を除く)は
消費者ホットライン=局番なしの『188』へ

子どもは子どもでない

青少年健全育成敦賀市民会議
会長 籠 正義



怠け者の私ですが時には庭の草を取ります。そんなに真剣ではないので小さいものは気にならず、取り易い目につくものを取って進みます。やっと終わったと思うころ、小さい草だからと残してきたものがやたらと目に障る大きさに育っており、うんざりしてしまします。「小さい草は小さい草」ではなく、「大きくなる草」というとらえ方をしていたことが反省し、近頃は時間はかかりませんが小さい草にも手を伸ばしております。小さいから・・・と軽く考えることの危険性というか、過ちを教えられることとなりました。

さて、子どもを育てるといふことにも、何か通じる様に思い少し述べてまいります。私達は子どもの見方として「子どもは子ども」ととらえ、親や大人とは違った世界に生きていて未熟であり保護すべき存在であるというとらえ方をしていきます。「子どものすることだから・・・」とか「子どものことだから・・・」と子どもをやさしく理解をしていく姿として好感はもたれますし、子どもにとつても幸せな子育てとなります。しかし、「子どもは子ども」とのとらえ方だけでは、先の草取りの折、「小さい草」と「大きくなる草」との見方の違いによってその対応の有り方に変化が出てきたように、子どもは単なる未熟な存在ではなく、未来のふる里を守る大切なステップを歩む「大人になる子ども」ととらえることとなれば、それぞれの子どもの発達段階に応じた関わり方が考えられます。やり直しのきかない子育てであり、昔から「三つこころ、六つしつけ、九つことば、文は十二、理は十五」と言われることも一つの関わり方と参考にし、未来を意識した今を大切にしていかなければなりません。「大人になる子ども」ですから。

したがって、子ども達は大人への大切なトレーニング中であるのとらえ、私達大人・親は子ども達にとって有能なトレーナーにならねばなりません。今一度自らの姿を確認しようではありませんか。

団体
紹介

敦賀市民生委員児童委員協議会連合会

会長 竹田 武

本年平成29年に民生委員制度創設100周年を迎えました。民生委員制度は大正6年に岡山県で始まった「済世顧問制度」に起源があり、翌年には大阪で「方面委員制度」が発足したことから救貧対策を中心に活動が広がり、昭和3年に福井県での発足により全国に普及しました。戦後昭和21年に「民生委員」と改称し、翌22年に民生委員は児童委員を兼務することとなりました。現在敦賀市は146名の定員で(うち12人は主任児童委員として、児童福祉専門に担当しています。)6地区に分かれて活動しています。

「誰もが笑顔で、安全に・安心して暮らせる地域」づくりを目指し、社会福祉の精神をもって社会福祉・児童福祉の向上に努めていきます。

◆ 主な活動

1 地域の見守り役

定期的なひとり暮らしの高齢者を訪問し、健康状態などを見守り、見えづらい課題を見つけたりします。また、子どもたちの登下校時の声掛けも行っています。



2 身近な相談相手

地域住民の立場に立って、生活上の心配事や悩みなどあらゆる相談に応じています。(私達には守秘義務があります。)

3 専門機関へのつなぎ役

相談内容に応じて必要な支援を受けられるよう専門機関につなぎます。



Vol.29

林 恵子の きらきらcoramu

自信をもてる子に

日本の子ども達の自己肯定感の低さが問題視されています。高校生の意識調査の結果、「自分はダメな人間だと思う。」という問いかけに、日本では70パーセント近くが「そう思う。」と答えているそうです。これは、中国の5倍です。現代の日本は、豊かな半面「自分の人生をどのように生きたいらうまくいくのか」先行きが不確実で不安を感じる子どもが多いようです。そんな不安をかき消してくれるのは、自分の能力に対する一定の自信や誰かが支えてくれるという他者への信頼感です。乳幼児期の子ども達は、親だけでなく、周りの大人達にもかわいがってもらい、その人たちを好きになり、安心して過ごすことで、自発性が生まれ、自信ができてきます。小学生、中学生になれば、「こんな人になりたいなあ」と思う大人と出会うことが大切です。そんな人がたくさんいればいるほど選択肢は広がります。小さいうちに、たくさん大人の大人に出会い、いろんな価値観があることを知れば、成長とともに、その価値観の中から自分に合うものを選び、目標を持ち、自信をつけて生きていくことができるでしょう。そんな風に子ども達が育つためには、私達大人が何かひとつでも誇れるものを持って自信を持って生きていくことが大切だと感じています。



◆ 賛助会費のご報告 ◆

当市民会議の趣旨にご賛同いただき、誠にありがとうございました。賛助会費の29年度の募集結果は左記の通りです。

☆賛助会員数……12,660名
☆賛助会費……1,945,960円
(11月10日現在)



青少年健全育成活動の趣旨をご理解いただき今年度もこのように多くの賛助会費を賜り厚くお礼申し上げます。これから青少年育成活動が一層進んでいく所存ですので、ご指導よろしくお願い致します。

市民会議で

活動しませんか

皆様の青少年への思いを、市民会議で語ってみませんか。参加をお待ちしております。

毎月15日は青少年育成の日

今月の推進テーマは

『仲間をいやし、思いやりのある心を育てよう。』

毎月第3日曜日は 家庭の日

今月の推進テーマは

『働く人びとに感謝し、自分でできる仕事や奉仕を受け持つ。』

行事予定

- 平成29年度 青少年からのメッセージ 表彰式
平成30年3月10日(土) 10時
会場 プラザ萬象 小ホール
- 第40回 青少年健全育成 敦賀市民会議 定期総会
平成30年4月
- 第36回 親子のフェスティバル
平成30年5月13日(日) 9時~15時
会場 きらめきみなと館とその周辺
- 第40回 青少年育成敦賀市民大会
平成30年6月9日(土) 9時30分
会場 プラザ萬象 大ホール



青少年健全育成 敦賀市民会議のシンボルマーク



『青少年のつるが』第38号

平成29年11月28日

編集・発行 青少年健全育成敦賀市民会議 広報部

事務局 少年愛護センター内
〒914-0047 敦賀市東洋町1の1
TEL 233-10189
FAX 233-100523

Eメール: ton21@aino@ton21.ne.jp

皆様の「ご意見」を募集しております

